

INTER COOLER **Standard Edition** **SE**

“BLITZ” means the ability to progress, every performance parameter of the motor-car. Established in 1980 “BLITZ” has developed and evolved automotive.

取 付 説 明 書

SUPRA
JZA80

BLITZ

この度は弊社製品を御買い上げ頂き、誠にありがとうございます。

お願い！！

- この取り扱い説明書には製品を使用する際と自動車に装着する際の注意事項が詳しく記載してあります。
よくお読みになって、正しくご使用下さい。
- 本書は、いつでも取り出して読めるように車内に大切に保管しておいて下さい。

装着車輛可能車輛と製品の仕様

- 車 名：TOYOTA SUPRA
- 型 式：JZA80
- エンジン：2JZ-GTE
- 年 式：1993 年 05 月～
- 製品名称：BLITZ INTER COOLER Standard Edition
- 製品番号：23122

製品についてのご相談先

製品についてのお問い合わせ連絡は、お電話またはFAXにて下記宛にお願いします。

- 連絡先：(株)ブリッツ
- TEL：0422-60-2277
- 住 所：東京都西東京市新町 4-7-6
- FAX：0422-60-0066

はじめに確認して下さい！

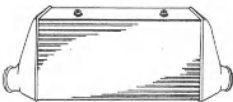
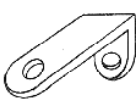
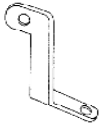
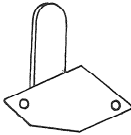
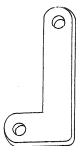
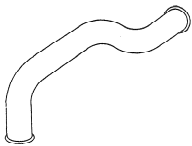
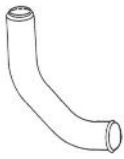
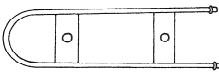
- この製品は、表記リストの部品及び付属品で構成されています。不足品や不具合のある場合は販売店または弊社までご連絡下さい。
- 本製品を装着前に落としたり、装着時に無理な力を加えると装着不良で空気漏れや故障の原因になる場合がありますので十分に注意して下さい。

重要事項の確認

- 本製品はノーマル車輛を基準に製作されています。社外品（純正品以外）のパーツ（パイピングKIT、ブローオフバルブ、オイルクーラー等）を装着されていたり、事故歴のある車輛の場合は本KITの装着ができない場合があります。
- 本製品を装着するにはバンパー等の加工作業が必要です。また、加工の際には必ず保護メガネ・軍手等の保護具を使用して安全に作業をおこなってください。
- 本製品の装着には、専門知識と加工技術、及び特殊工具が必要です。
- 本製品を装着すると、車輛によりブースト圧の調整及び燃料セッティングが必要になる場合があります。
- 作業中に車が動きだしたりしない様に平坦な場所でパーキングブレーキ等をかけて確実に停止させて下さい。また、エンジンが完全に冷えてから作業を開始して下さい。
- 作業はメーカーの発行する整備手順要領書を基本におこなってください。
- 装着後は日頃のメンテナンスを十分に行い、各部の緩み等をチェックし増し締めを行って下さい。
- 表記車種以外の車に取り付ける際の加工については、当社は一切責任を負いません。
- 取扱説明書は作業終了後も紛失しないように大切に保管して下さい。
- 一般公道での走行は、道路運送車輛法を守って走行してください。
- アクティブスポイラー付き車両の場合、本製品の装着によりアクティブスポイラー本体は取り付け不可となります。スポイラーのリップ部のみオプション設定のステーKITにより取り付け可能です。
- AT 車は本製品を装着するにあたって、AT 用のクーリングファンを取り外す必要がありまので予めご了承ください。

取り付け作業の方へ注意

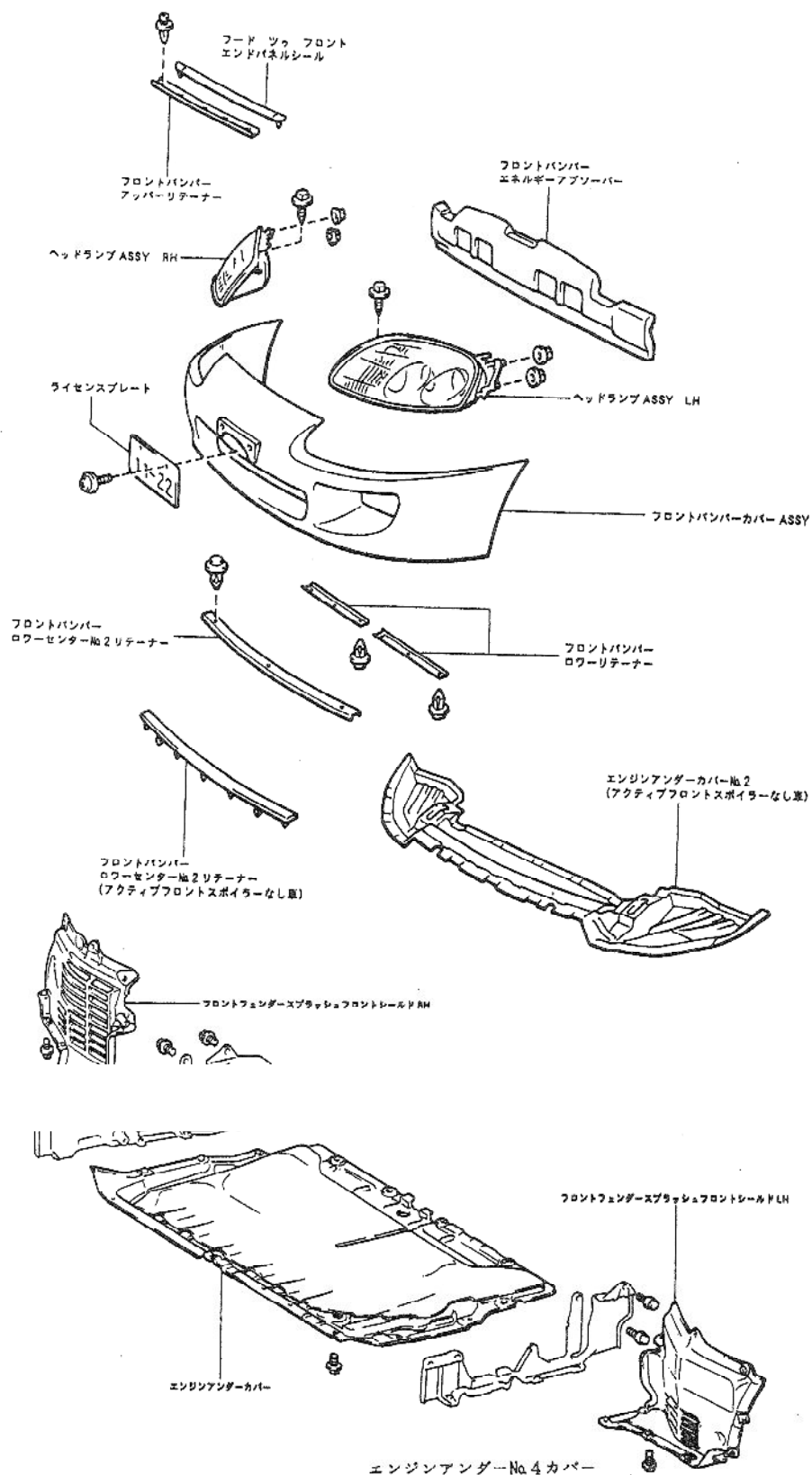
- 品質には万全を期しております、KIT 内アルミパイピングの中にバフ等の研磨剤が付着している事が稀にあります。パイプ取り付けの際には、事前に点検・洗浄を行って下さい。

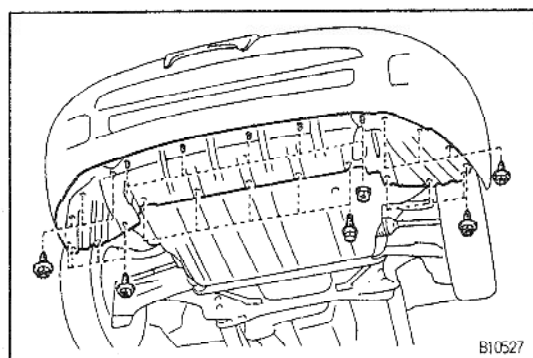
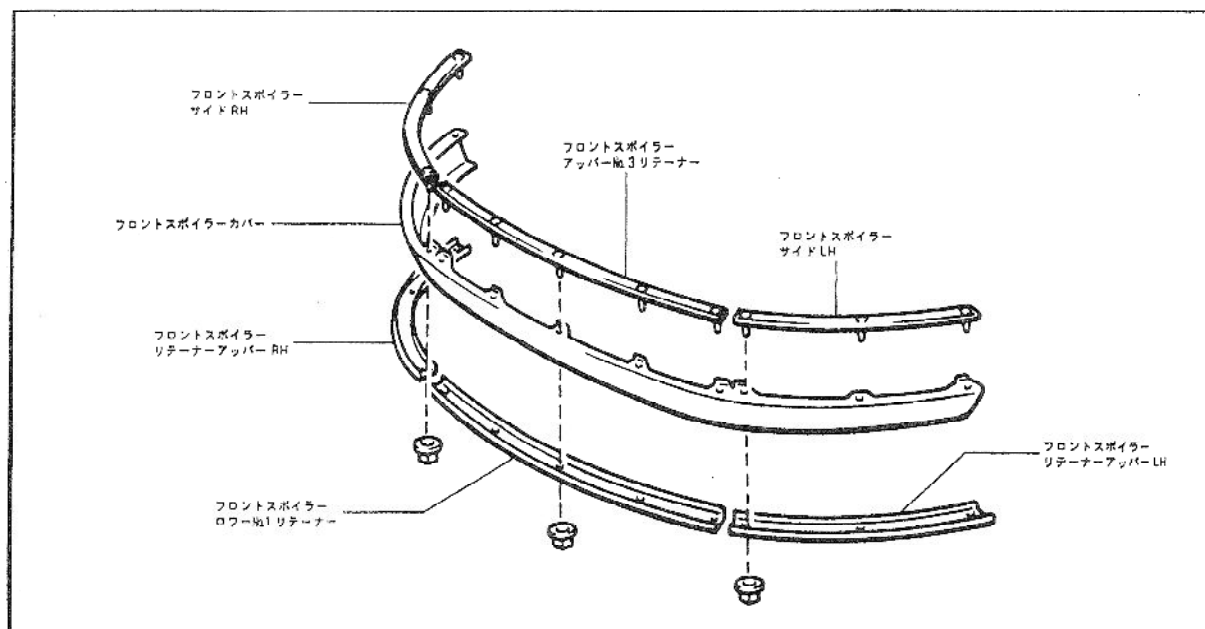
■パーツリスト■							
インタークーラーASSY		I/C アンダーステー		ステー②		ステー③	
	1		1		1		1
リザーバタンクステー		ステー(a)		ステー(b)		アルミカラー	
	1		1		1		1
インタークパイプNO.1		インタークパイプNO.2		インタークパイプNO.3		インタークパイプNO.4	
	1		1		1		1
シリコンホース φ80		異径シリコン φ65-φ70		異径シリコン φ70-φ80		異径シリコン φ75-φ80	
	3		1		1		1
クランプ φ65用		クランプ φ70用		クランプ φ75用		クランプ φ80用	
	1		2		1		8
クランプ φ10用		リザーバタンク		パワステオイルクーラー		オイルホース φ9	
	4		1		1		1
ボルト M5×20		ボルト M5×30		ボルト M6×16		ボルト M6×20	
	2		1		1		1
ボルト M8×16		ワッシャー φ5-φ12		ワッシャー φ5-φ20		ナット M5	
	6		3		3		3
ナット M8		タイラップ					
	3		10				

作業者の方へお願い

□作業が終了しましたら、本取り扱い説明書は必ずお客様に返却して下さい。

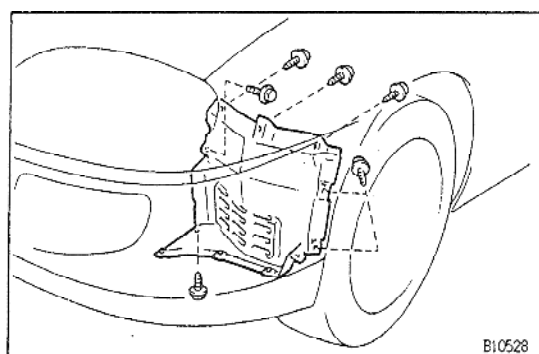
□ノーマルパーツ取り外し□





フロントバンパーカバー ASSY 取りはずし

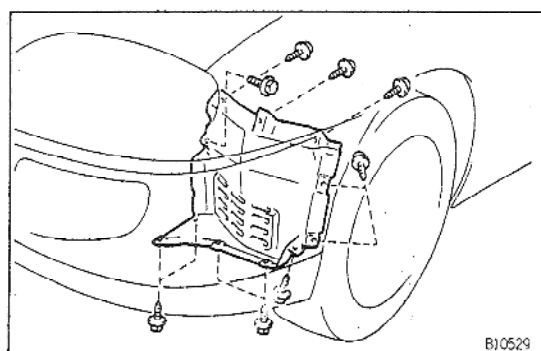
- 1 バッテリーを取りはずす。
- 2 エンジンアンダーカバー No.2 取りはずし
(アクティブフロントスポイラーなし車)
(1) ボルト 5 本, スクリュー 14 本およびナット 5 個をはずし, エンジンアンダーカバーを取りはずす。



3 フロントフェンダースブラッシュシールド RH および LH 取りはずし

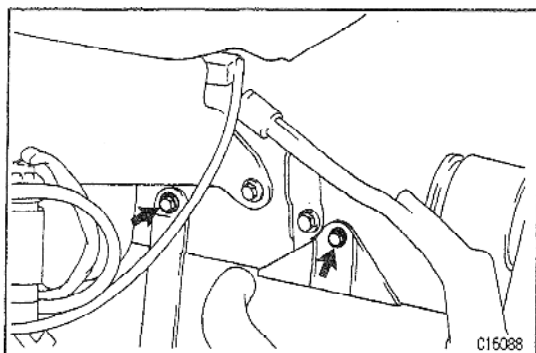
アクティブフロントスポイラーなし車

- (1) ボルトおよびスクリュー 6 本をはずし, フロントフェンダースブラッシュシールドを取りはずす。

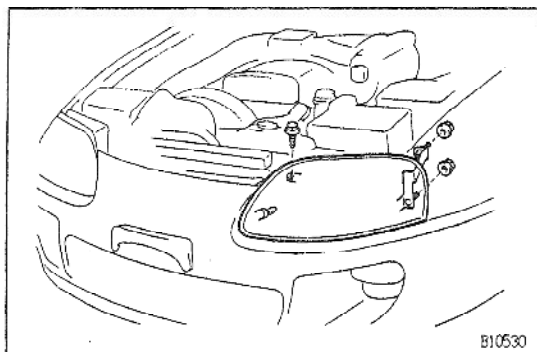


アクティブフロントスポイラー付き車

- (1) ボルトおよびスクリュー 10 本をはずし, フロントフェンダースブラッシュシールドを取りはずす。

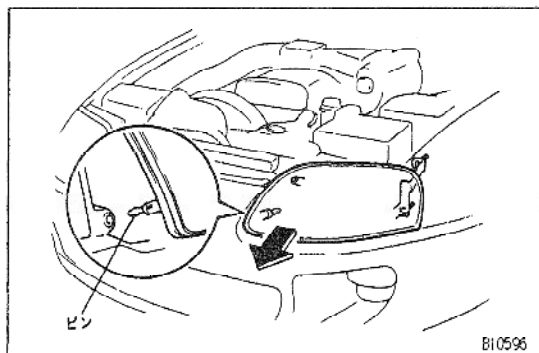


- (1) エンジンアンダー-NA 4 カバー (RH および LH) 取り付けボルト 4 本をはずす。

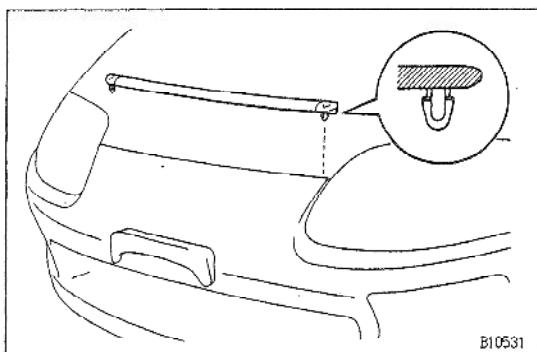


4 ヘッドランプ ASSY RH および LH 取りはずし

- (1) ボルトおよびナット 2 個を取りはずす。
(2) コネクターをはずす。

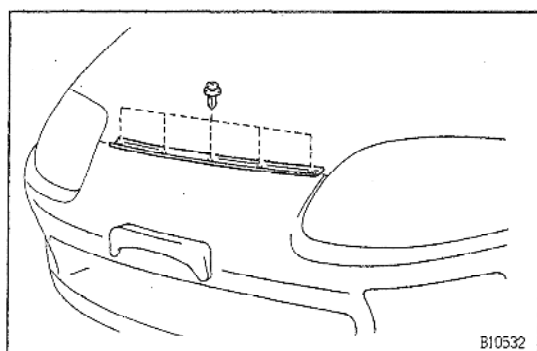


- (3) ヘッドランプ ASSY を車両前方へ引き、車両内側のピンのかん合をはずして取りはずす。

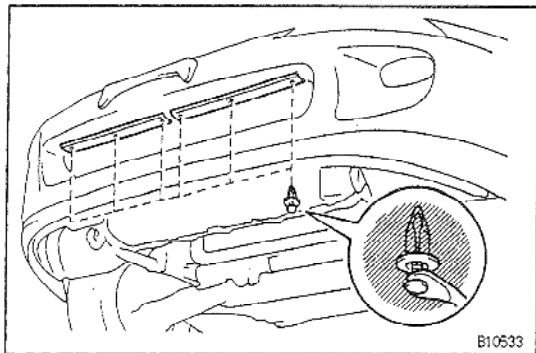


5 フロントバンパーカバー ASSY 取りはずし

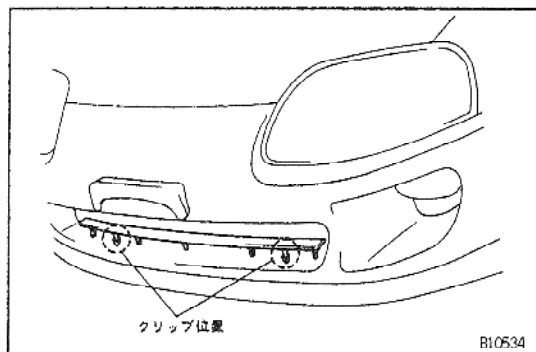
- (1) クリップリムーバーを使用して両端のクリップをはずし、フード ツウ フロントエンドパネルシールを取りはずす。



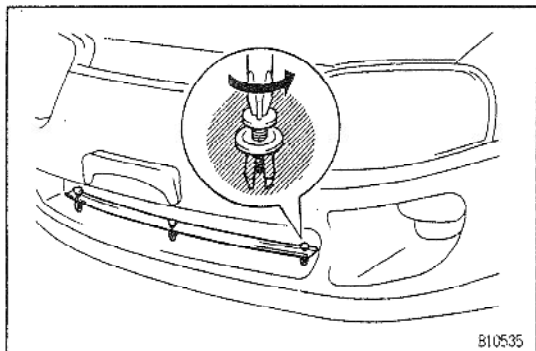
- (2) クリップ 5 本をはずし、フロントバンパーアッパーリテーナーを取りはずす。



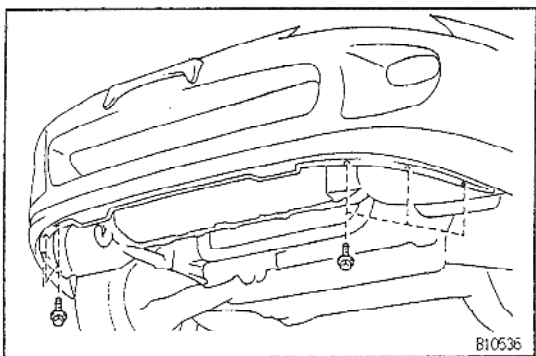
- (3) クリップリムーバーを使用してクリップ6個をはずし、フロントバンパーローリテーナーを取りはずす。



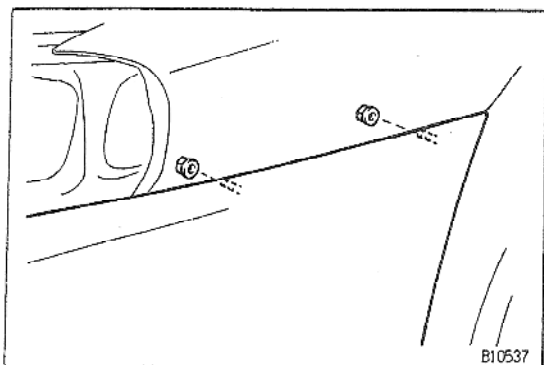
- (4) クリップリムーバーを使用してクリップのかん合をはずし、フロントバンパーローセンターNo.2リテーナーを取りはずす。
(アクティブフロンツボイラーなし車)



- (5) ⊕ドライバーを使用してクリップ3個をはずし、フロントバンパーローセンターNo.2リテーナーを取りはずす。
(アクティブフロンツボイラー付き車)



- (6) フロントバンパーカバー下部のボルト6本を取りはずす。

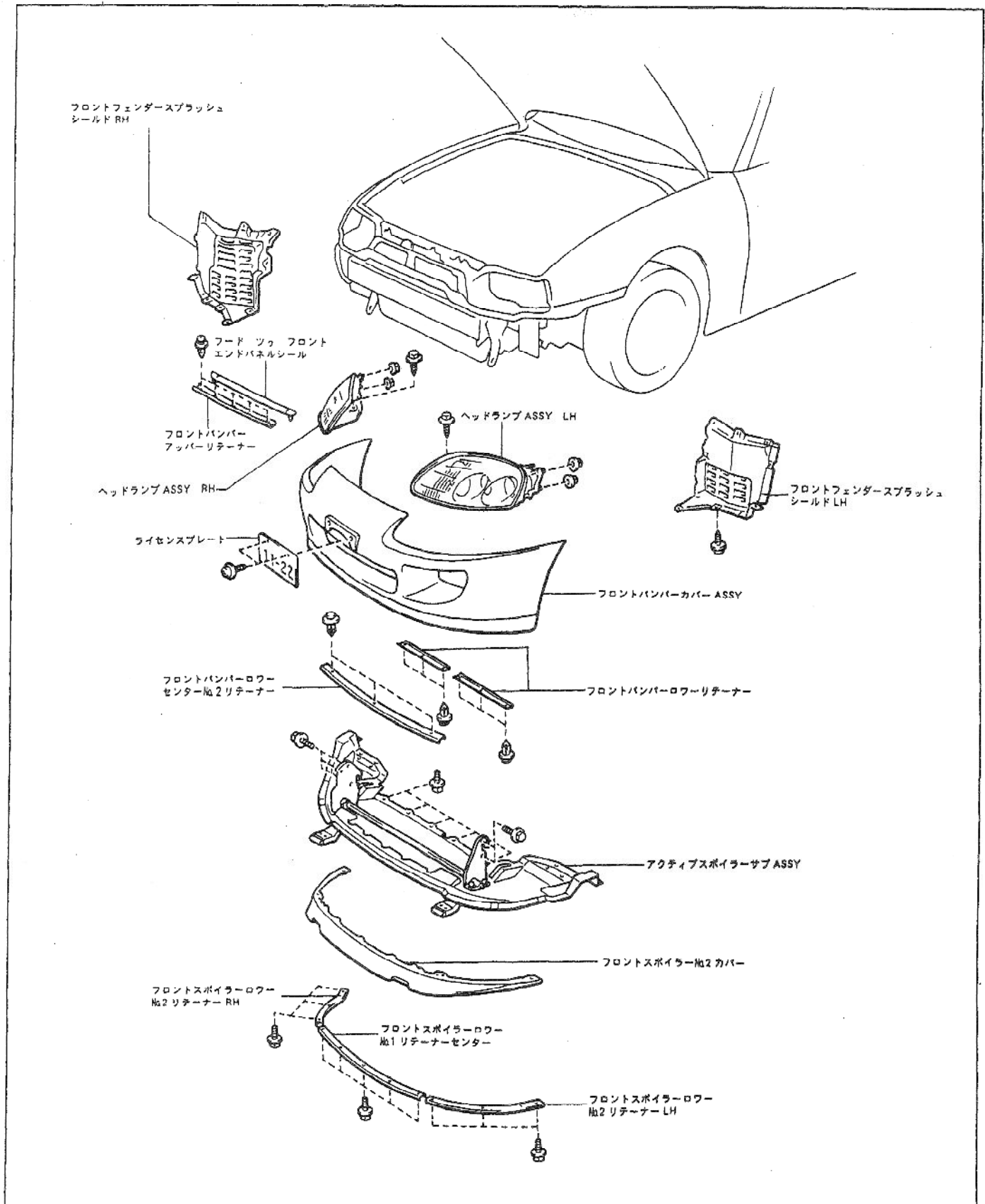


- (7) ナット4個を取りはずす。
(8) コネクターを切り離し、フロントバンパーカバー ASSY を取りはずす。

6 フロントバンパーエネルギーアブソーバー取りはずし

アクティブフロントスポイラー

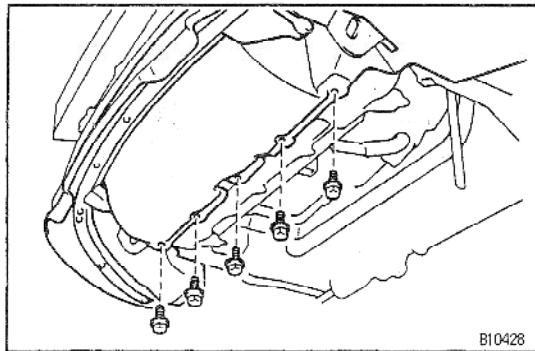
脱着分解構成図



アクティブフロンツポイラー取りはずし

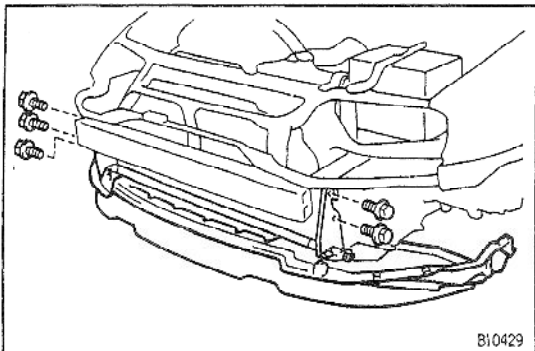
- 1 ライセンスプレート取りはずし
- 2 フロントフェンダーモールディング RH および LH 取りはずし
- 3 フロントフェンダーライナー RH および LH 取りはずし
- 4 フロントフェンダースブラッシュシールド RH および LH 取りはずし
- 5 ヘッドランプ ASSY RH および LH 取りはずし
- 6 フロントバンパーカバー ASSY 取りはずし

(1から6は「フロントバンパー」 - 「フロントバンパー取りはずし」参照)



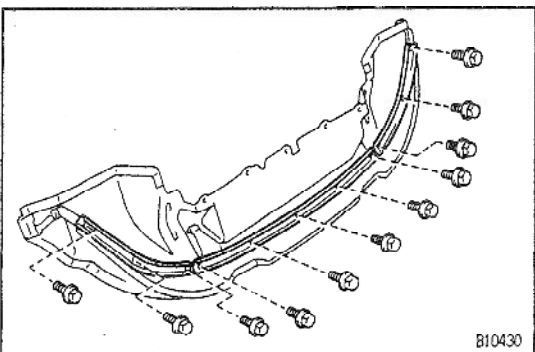
7 アクティブフロンツポイラー ASSY 取りはずし

- (1) ボルト 5 本を取りはずす。



- (2) ボルト 5 本を取りはずす。

- (3) コネクターを切り離し、アクティブスポイラー ASSY を取りはずす。



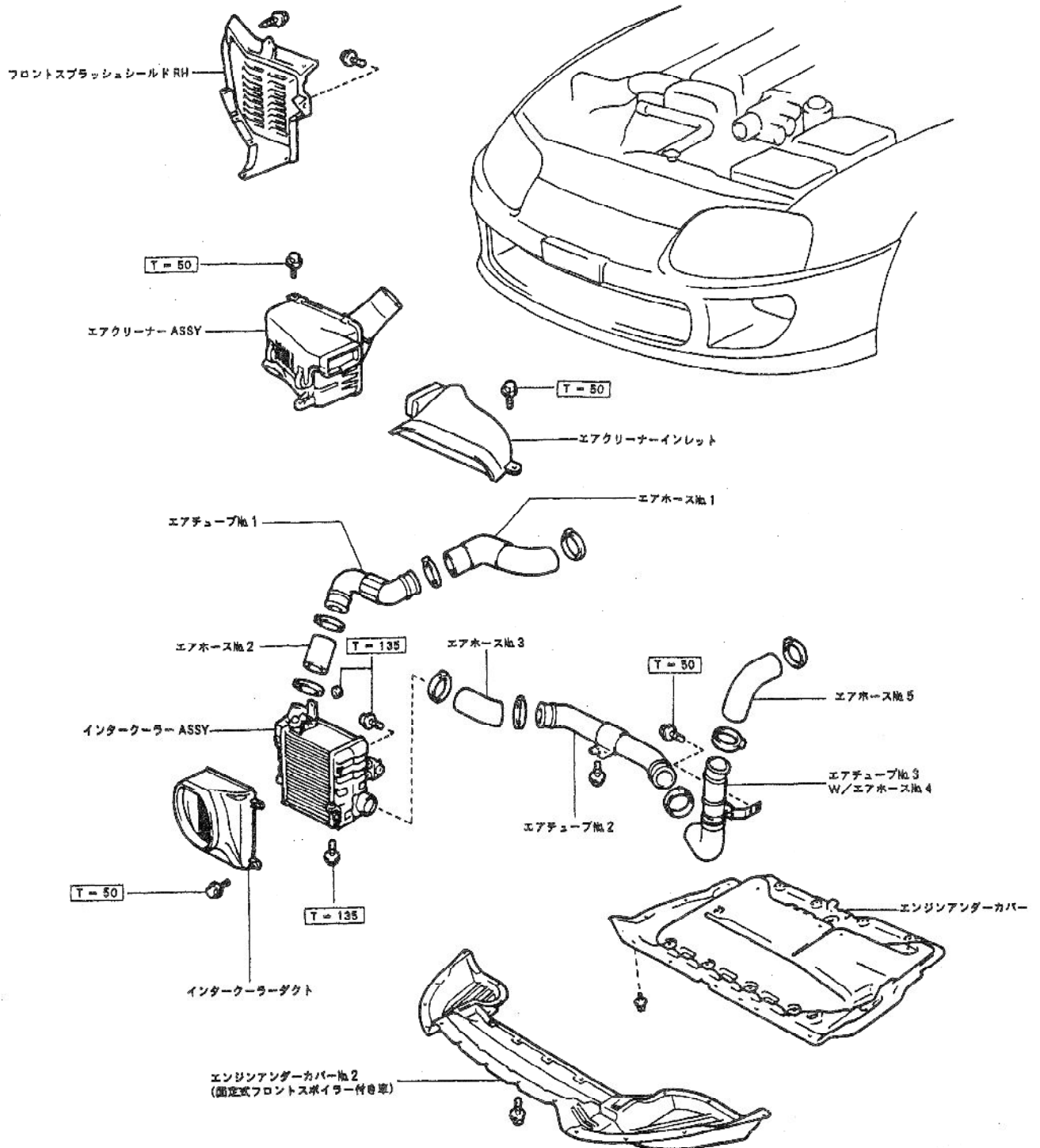
アクティブフロンツポイラー分解

1 フロントスポイラー No.2 カバー取りはずし

- (1) ボルト 11 本をはずし、フロントローリテーナーおよびフロントスポイラー No.2 カバーを取りはずす。

インタークーラー

脱着構成図

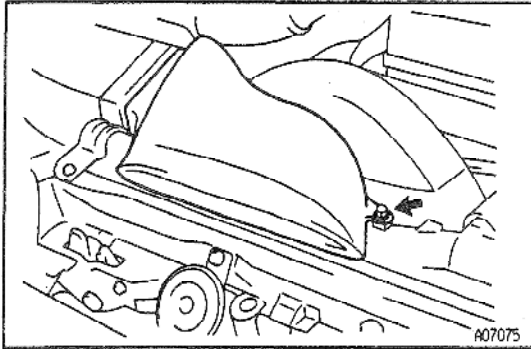


.....締め付けトルク (kg・cm)

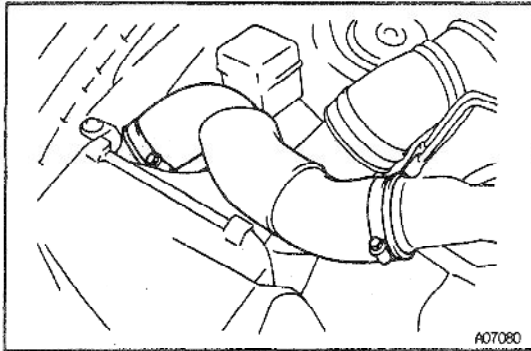
A07141

インタークーラー取りはずし

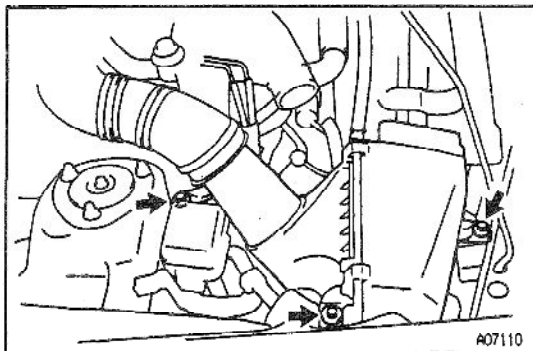
- 1 エンジンアンダーカバー取りはずし
- 2 エンジンアンダーカバー№2取りはずし（固定式フロントス
ポイラー付き車）
- 3 フロントスブラッシュシールド RH 取りはずし



- 4 エアクリーナーインレット取りはずし

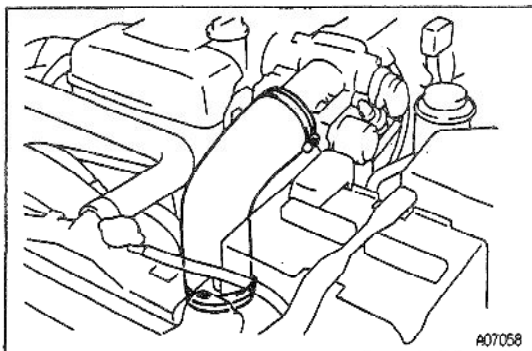


- 5 エアホース№1取りはずし

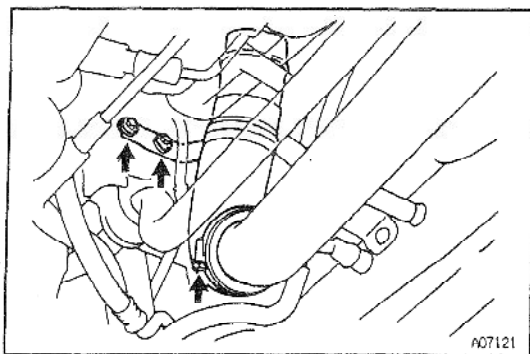


- 6 エアクリーナー ASSY 取りはずし

- (1) ボルト3本をはずし、エアクリーナーホースを切り離してエア
クリーナー ASSY を取りはずす。

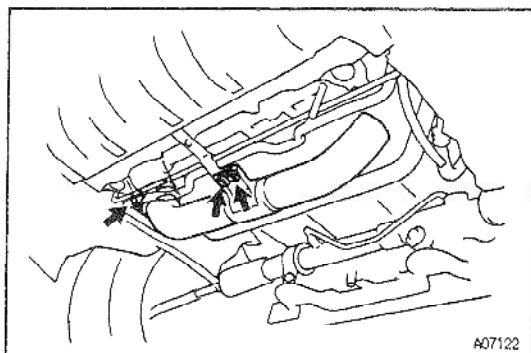


- 7 エアホース№5取りはずし



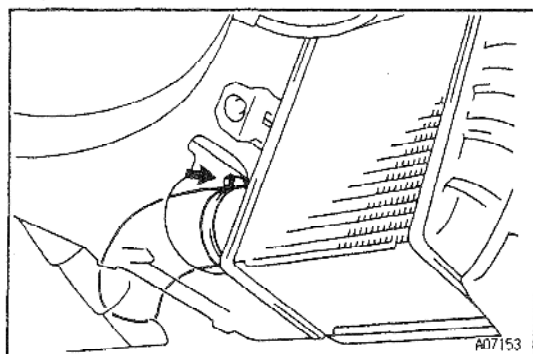
8 エアチューブNo.3 W/エアホースNo.4 取りはずし

- (1) ホースクランプをゆるめる。
- (2) ボルト2本をはずし、エアチューブNo.3 W/エアホースNo.4 を取りはずす。



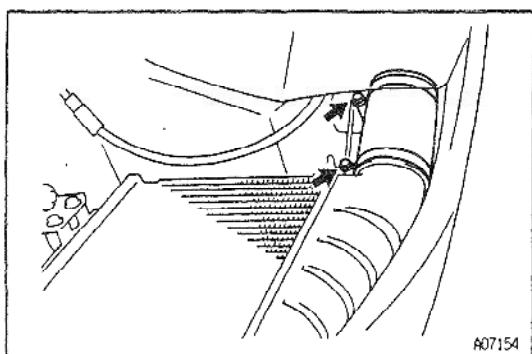
9 エアチューブNo.2 取りはずし

- (1) ホースクランプをゆるめる。
- (2) ボルト2本をはずし、エアチューブNo.2 を取りはずす。



10 エアホースNo.3 取りはずし

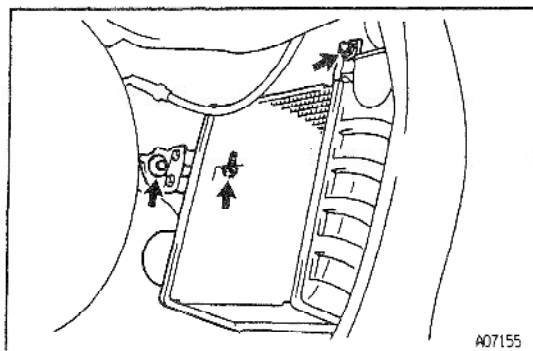
- (1) ホースクランプをゆるめ、エアホースNo.3 を取りはずす。



11 エアホースNo.2 取りはずし

- (1) ホースクランプをゆるめ、エアホースNo.2 を取りはずす。

12 エアチューブNo.1 取りはずし



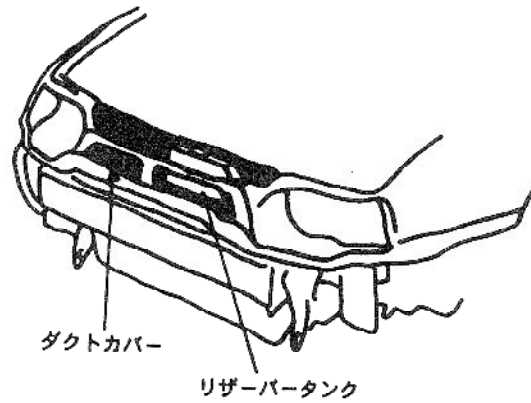
13 インタークーラー ASSY 取りはずし

- (1) ボルト2本およびナット1個をはずし、インタークーラー ASSY W/インタークーラーダクトを取りはずす。
- (2) スクリュー4本をはずし、インタークーラー ASSY からインタークーラーダクトを取りはずす。

◆ リザーバタンク及びパワステクーラーチューブ取り外し ◆

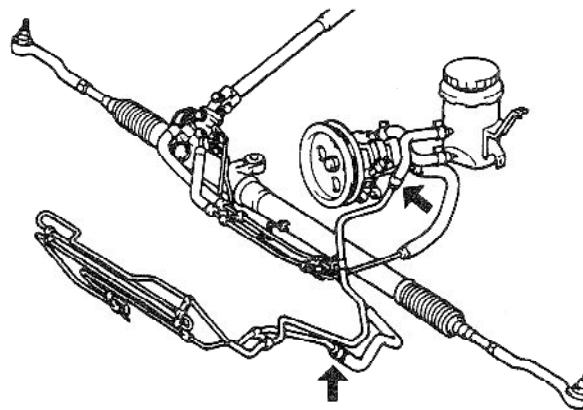
1. ラジエターリザーバタンク取り外し

- (1) ラジエターリザーバタンクステーを取り外す。
- (2) リザーバタンク下側のダクトカバーよりフードロックワイヤー、及び外気センサーを外し、ダクトカバーを取り外す。



2. パワステクーラーチューブ取り外し

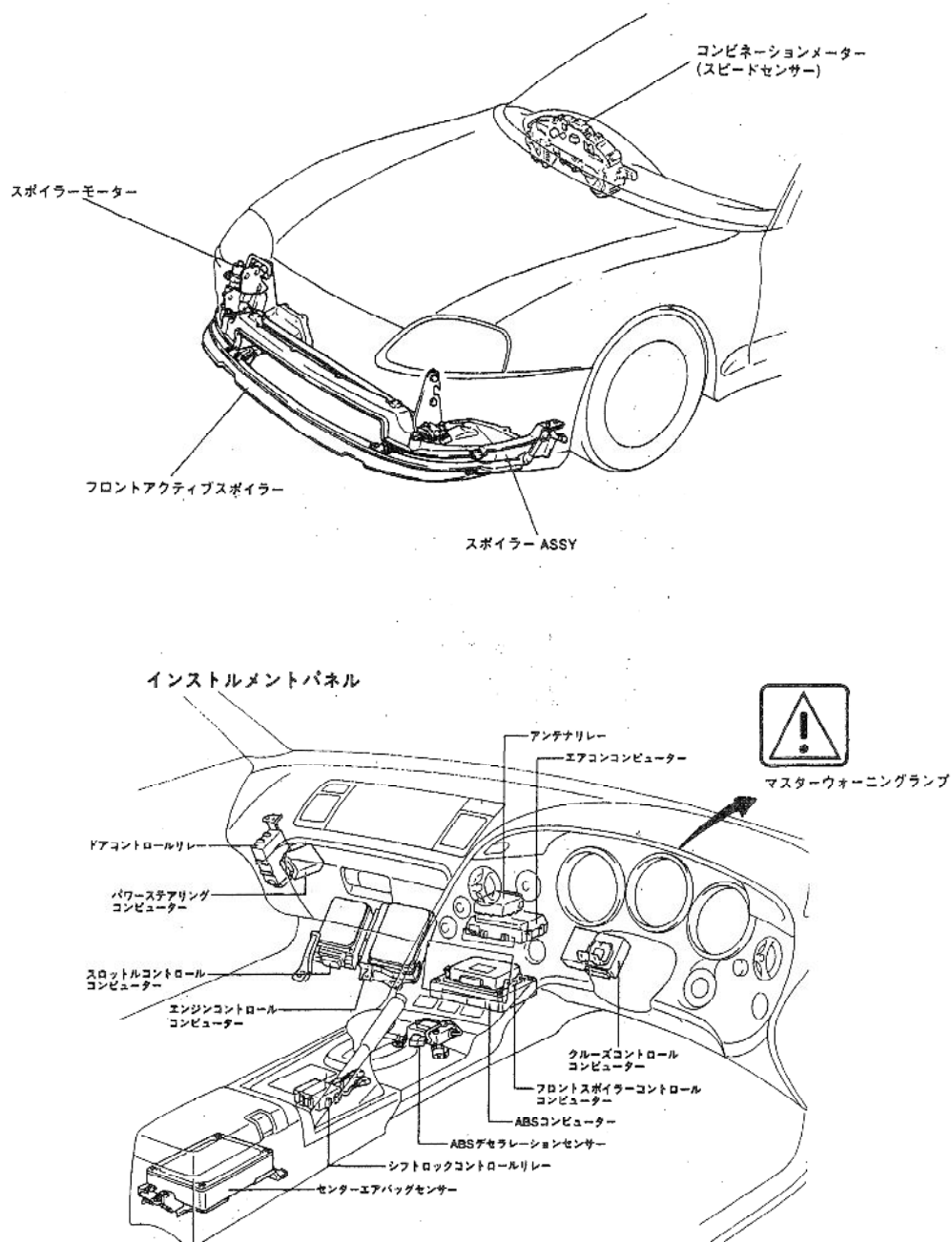
- (1) パワステフルードを抜取る。
- (2) 図中矢印部よりクーラーチューブを取り外す。
(車輛側パワステラインにメクラをし、フリーの状態にしておく)



◆ アクティブスポイラー装着車両の場合 ◆

1. アクティブスポイラー装着車両は、BLITZインタークーラーKITを装着した場合、スポイラーASSY及びスポイラーモーター等は装着出来ません。
フロントアクティブスポイラー（リップ部）のみOPTION設定のステーKITにより、取り付けの事が可能です。
2. インストルメントパネルを取り外し、フロントスポイラーコントロールコンピューターに接続されているカプラーを取り外して下さい。

※カプラーを取り外さなくても走行には問題ありませんが、タコメーター部のワーニングランプが点灯したままになります。

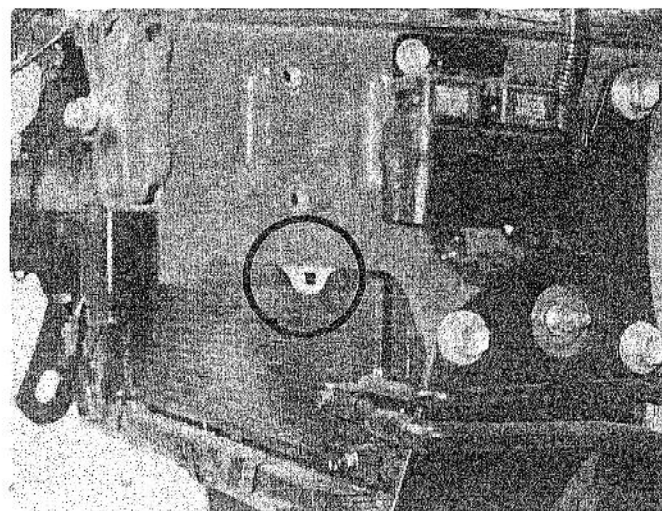
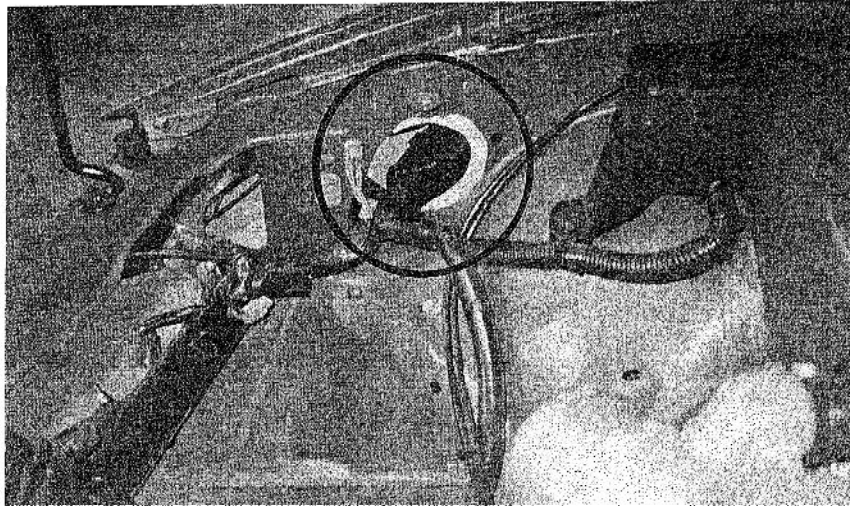


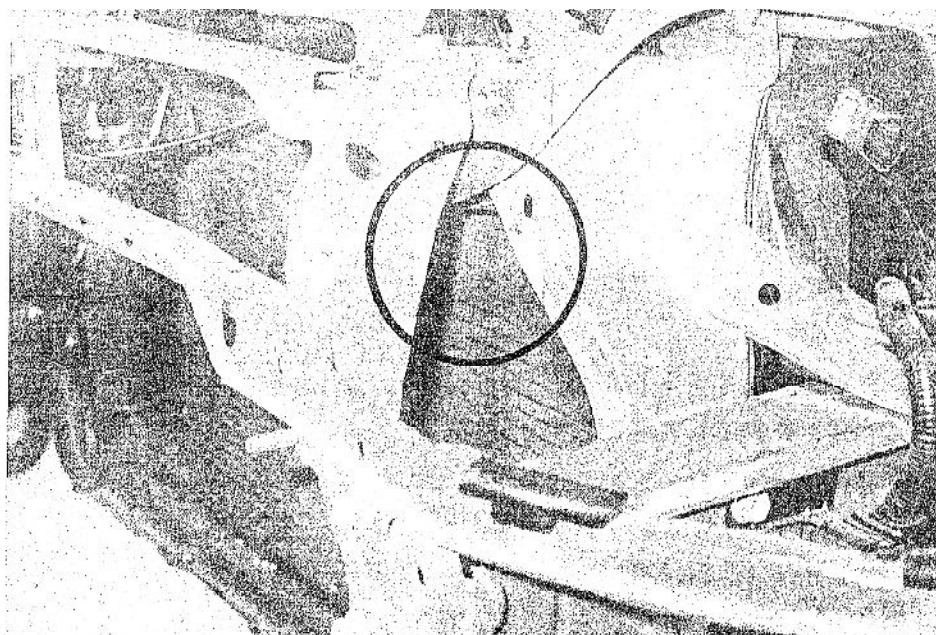
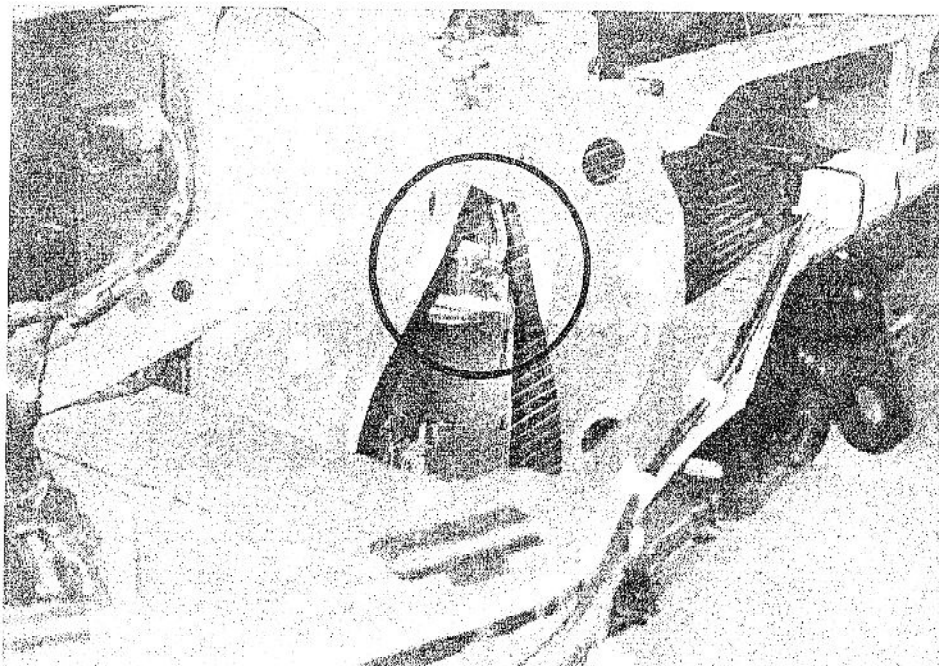
<キットパーツ取り付け>

1. ボディー加工

下図の○部中白色部分をカット加工して下さい。

注意 加工時は保護メガネ・マスク・軍手等を着用して安全に作業して下さい。



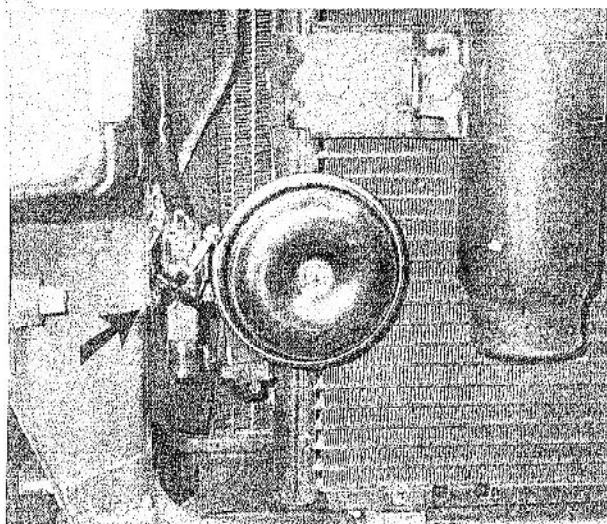


- ※ボディーに付着した鉄粉は、錆の原因になりますので、取り除いてください。
- ※加工部は塗装を施し、錆の防止に努めてください。
- ※加工後は元通りウインドウォッシャータンクを取り付けて下さい。

2. AT車はAT用クーリングファンを取り外し、コネクタ部に水や埃等が入らないようにビニールテープでメクラをし、付属のタイラップを使用して適当な場所に固定してください。

3. 外気センサー取り付け

外気センサー及び配線を付属のタイラップを使用して、右下側ホーンステーに固定してください。

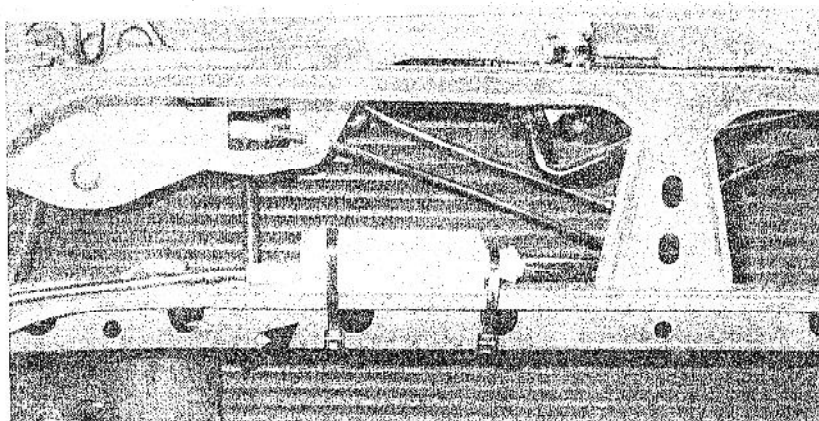


※アクティブスポイラー装着車は、取り外したコネクタをビニールテープ等で水の入らないようにして付属のタイラップでハーネスに固定して下さい。

4. フードロックワイヤー固定

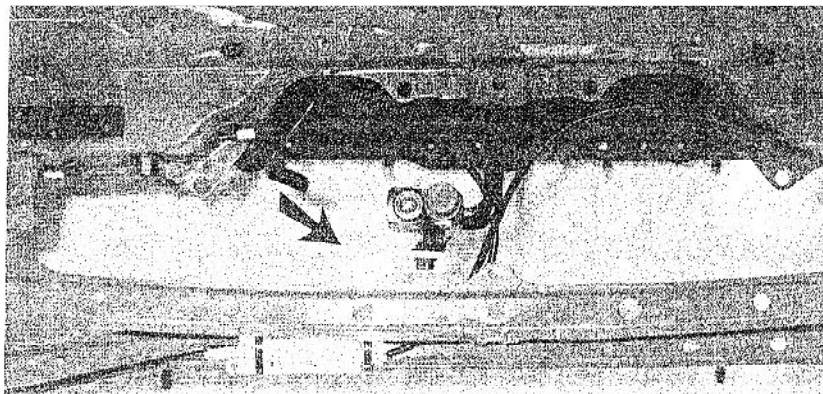
フードロックワイヤージョイント部を、フレームの上を通し、KIT付属のタイラップ (200mm×2) を使用して固定して下さい。

※フードロックワイヤーを無理のないように、取り回して下さい。



5. エアコン・サイトグラス固定

A/Cサイトグラスを純正ステーを使用してフレームに固定してください。

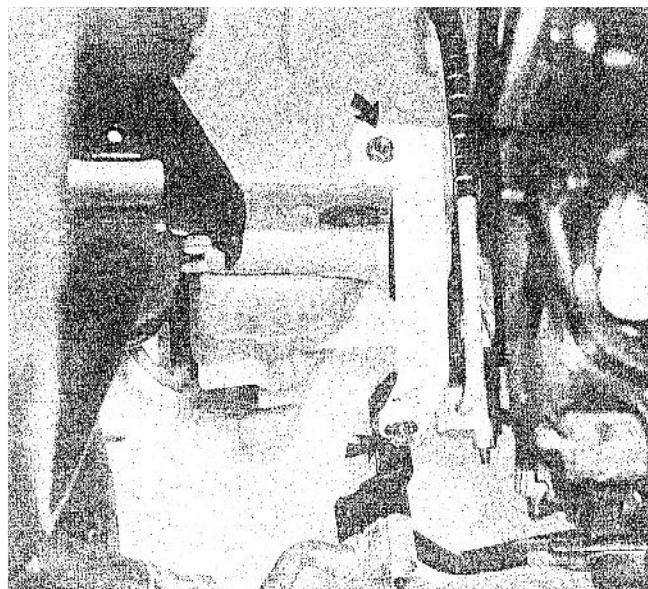


6. エアコン・チューブ移動

A/Cディスチャージチューブ（チューブの太い側）を下側に曲げ加工し、KIT内のステー②を使用してボディに固定して下さい。

※マイナー後の車両（1996年4月～）に関しては、KIT内のステー③を使用し同様に取り付けて下さい。

※A/Cチューブとステーの取り付けには、純正のボルト・ナットを使用して下さい。



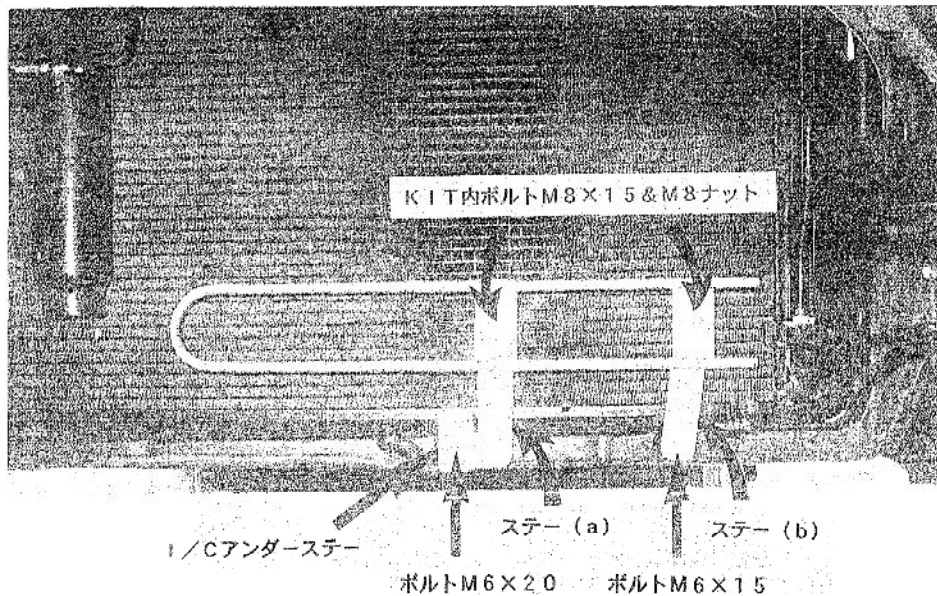
7. パワステクーラー取り付け

KIT付属のパワステクーラーをステー (a)・(b)を使用して、ボディに取り付けてください。

※I/Cアンダーステーをパワステクーラーステー (b)と共締めして下さい。

パワステクーラーへの配管は、KIT内のホースφ10及びφ10用クランプを使用して配管して下さい。

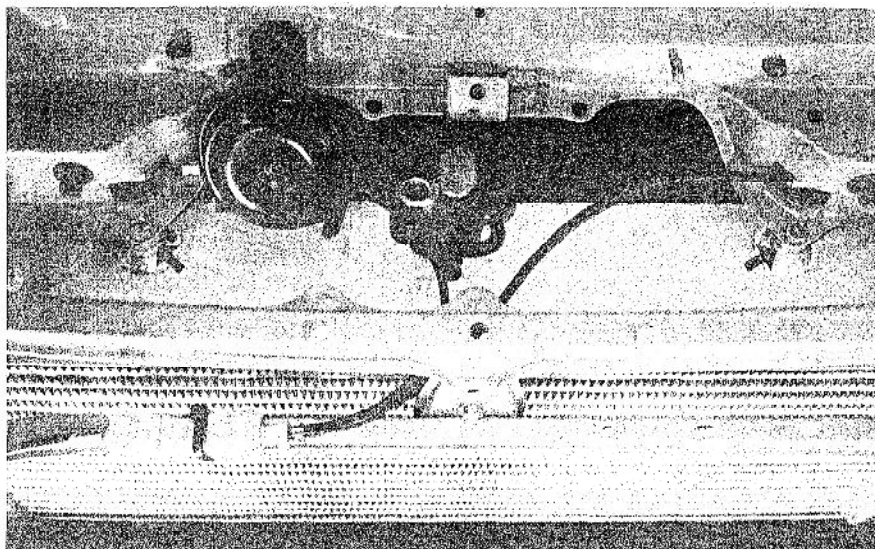
※ホースは適当な長さにカットして下さい。 又ホースが捻じれたり、他の部分と干渉しないように注意し、必要に応じてタイラップ等で固定して下さい。



8. インタークーラー本体取り付け

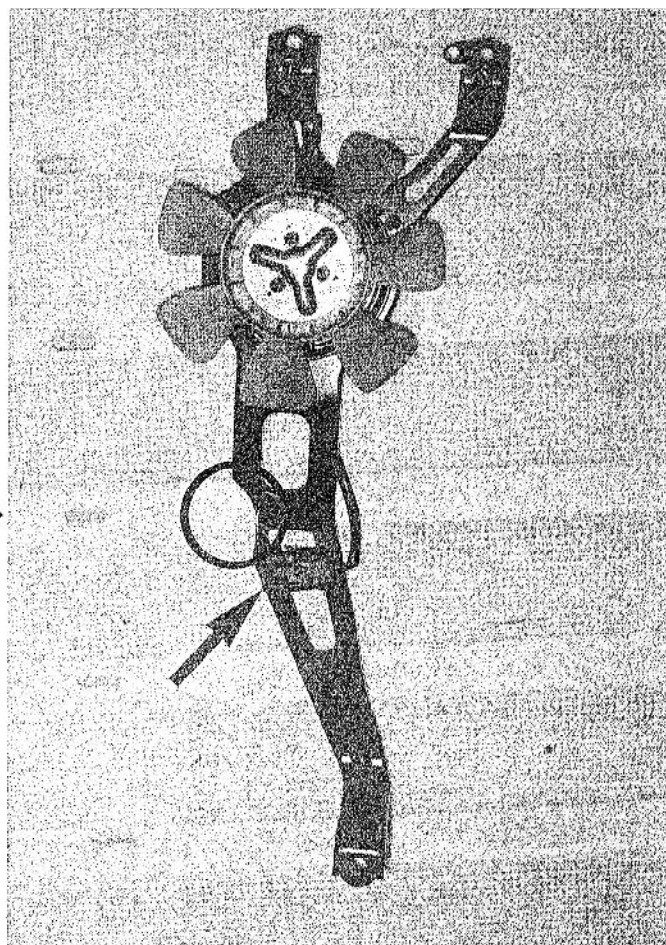
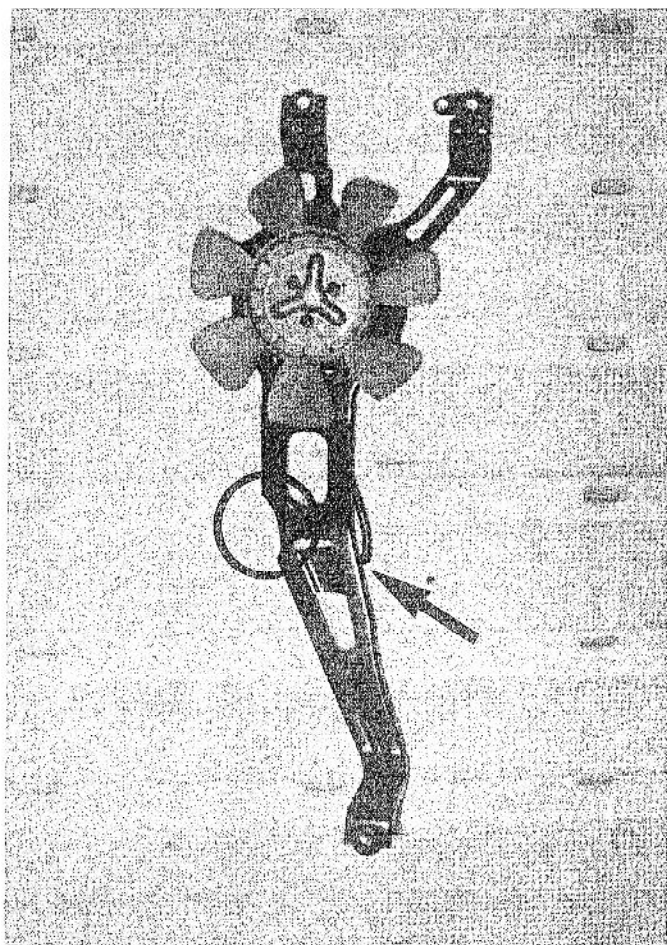
KIT内ボルト (M8×15) 3本を使用してI/C本体を固定して下さい。

I/C上側の取り付け穴は、純正のダクトカバーを止めていたクリップ穴を利用し、I/C下側の取り付けは、7. で取り付けたI/Cアンダーステーに固定して下さい。



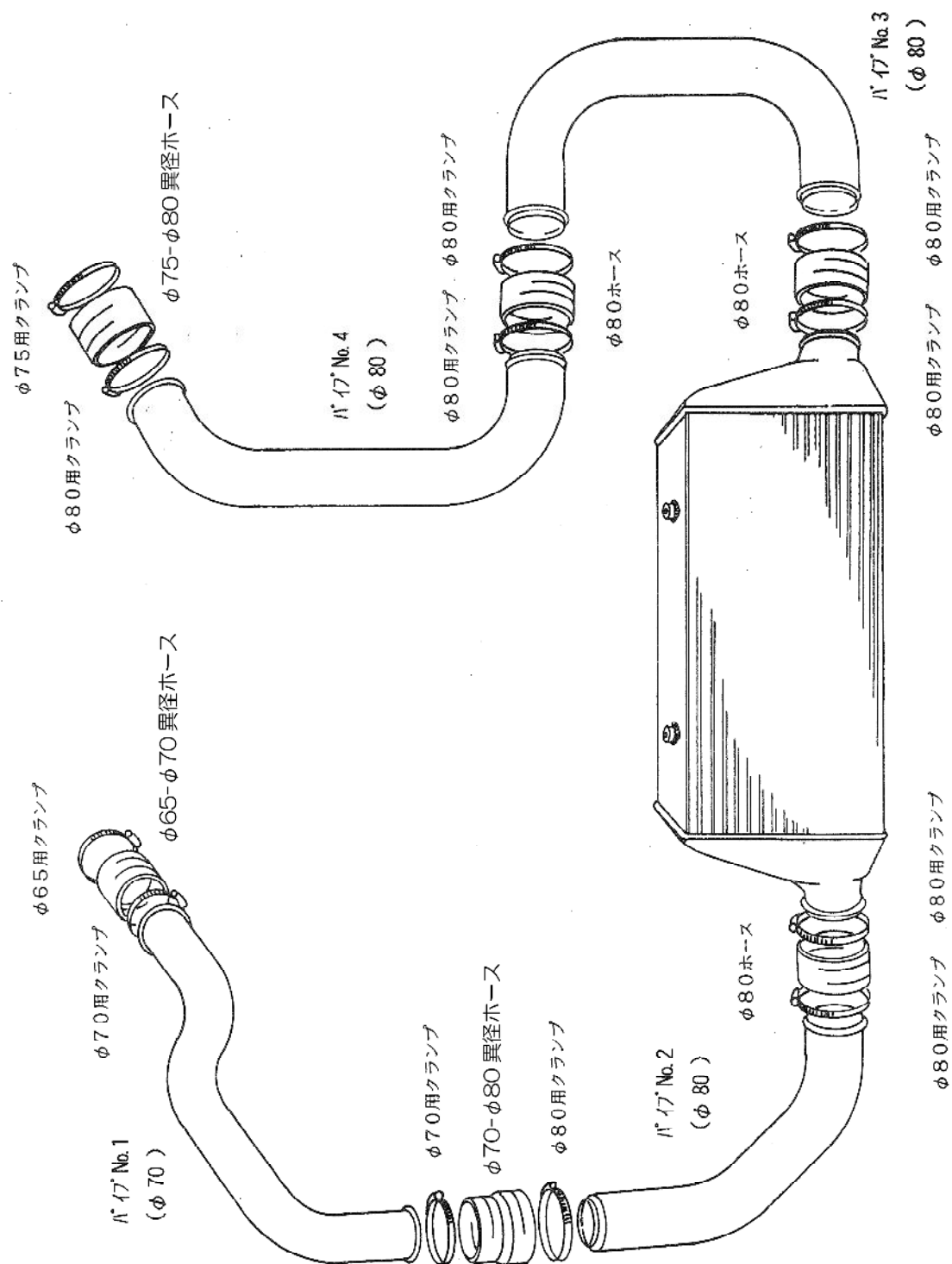
9. 電動ファン加工 【マイナー前車（1993年5月～1996年3月）のみ】

ラジエター本体に固定されている電動ファンを取り外す。
下図のようにカットし、コネクターがラジエター側になるように固定して
取り付けてください。



10. インタークーラーの配管

KIT内パイプNo.1 $\phi 70$, 及び (No.2 ~ No.4) $\phi 80$ を、付属のクランプとホースを使用して、下図の様に配管してください。 尚各パイプには、パイプNO.と方向(ターボチャージャー→スロットルへ向かって)を記すステッカーが貼られています。



注1) 各インテークパイプが、ホデー・A/Cチューブ・パワーステアリングホース等に干渉しないよう、調節してください。特にNo.4 (φ80) のパイプは、ファンベルトや電動ファンに近いので、注意してください。

注2) I/C入口と出口のクランプのクランプ部を上側にして下さい。

注3) パイプNo.1 (φ70) を通す穴部にある、ハーネスを止めているクランプを取り外して下さい。(パイプに干渉します)

注4) 純正のエアクリーナーBOXを使用する場合は、パイプNo.1 (φ70) を配管する前に仮止めして下さい。

1.1. リザーバタンク取り付け

(1) バッテリートレイを取り外し、下図の斜線部をカット加工して下さい。

注意 加工作業は保護具を着用し、安全に行ってください。

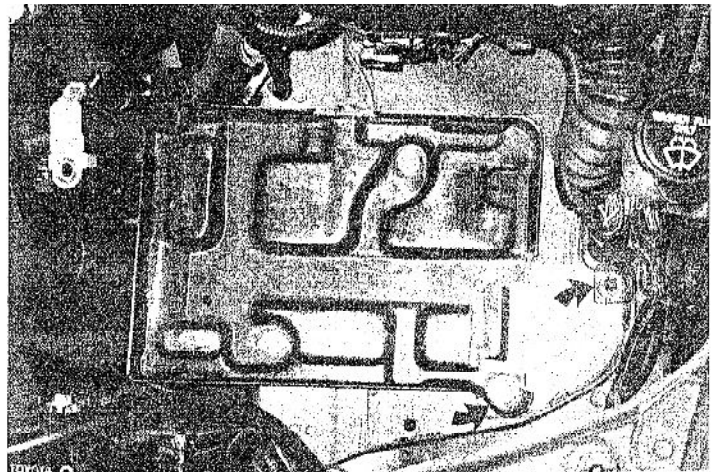
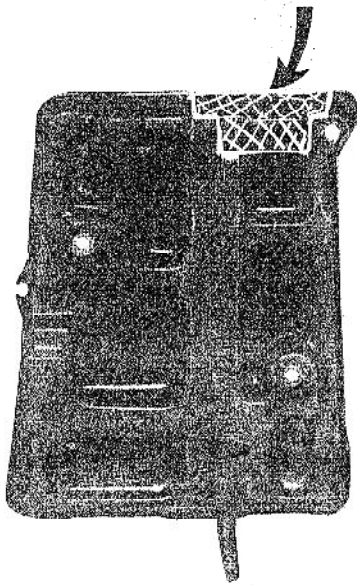
(2) KIT内のステーを車両左側ワイヤーハーネスプロテクターとバッテリートレイの下側に共締めし、固定して下さい。(ノーマルボルト再使用)

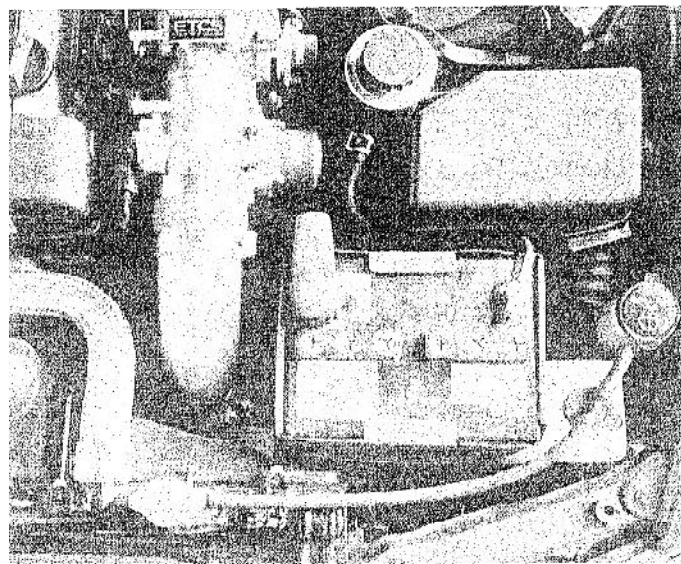
(3) KIT内のリザーバタンクをステーに差し込み、バッテリーを取り付けて下さい。

※バッテリーがバッテリートレイに納まる様に、ステーの取り付け位置を調整して下さい。

※バッテリー(一)端子の接続は最後に行ってください。

(4) リザーバタンクのホースをラジエターに接続して下さい。

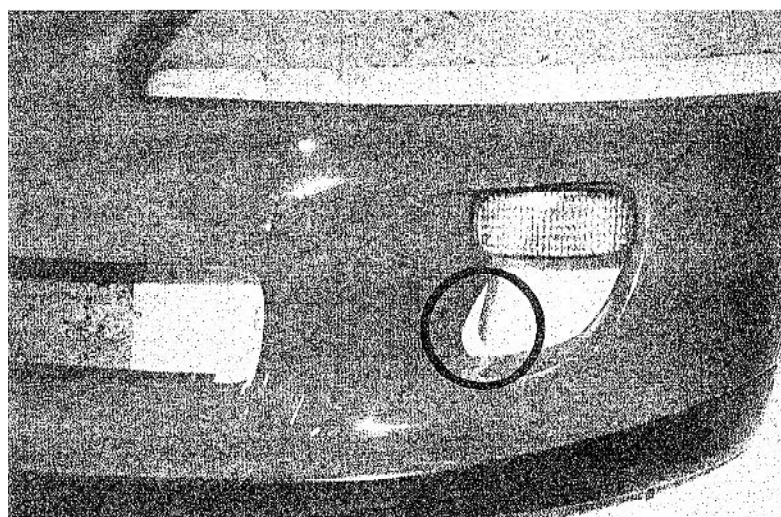
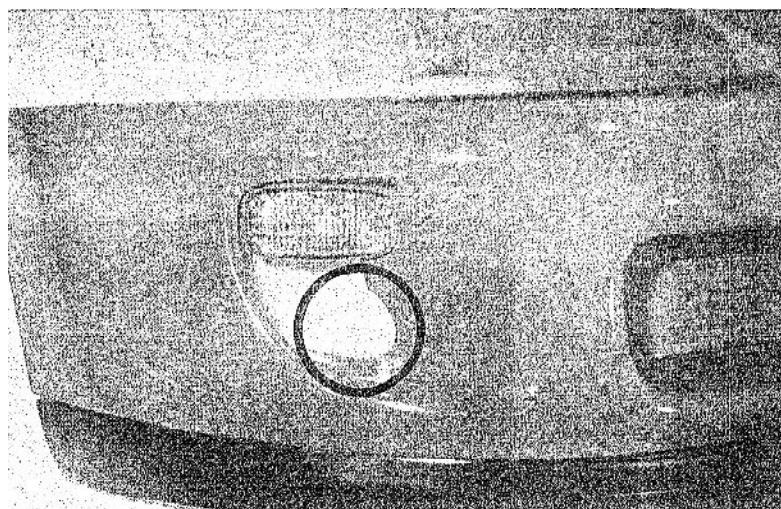




12. フロントバンパーの取り付け

下図○部中白色部分の、インタークーラーのパイピングに接触する部分を、切り取って装着して下さい。

注意 加工作業は保護具を着用し、安全に行ってください。



13. ヘッドランプASSY (RH/LH) を取り付けてください。

※コネクターを取り付けて下さい。

14. エンジンアンダーカバー取り付け

- (1) エンジンアンダーカバーNo.4 (LH) 下図の斜線部を参考にカットして取り付けして下さい。

※マイナー後車輛(1996年4月～)に関しては、エンジンアンダーカバーNo.4の形状が異なるので、インテークパイプφ80 (No.3) が通る様にカットして下さい。

- (2) エンジンアンダーカバーNo.2のマット(黄色)を取り外し、KIT内のボルト・ワッシャー・アルミカラーを下図の位置に使用して取り付けして下さい。

※マイナー後車輛(1996年4月～)は、ロワーセンターNo.2リテーナーとエンジンアンダーカバーNo.2の取り付けが、マイナー前車輛と異なりボルト・ナット止めになっている為、KIT付属のボルト・ワッシャー・アルミカラーは使用しません。

※アクティブフロントスポイラー付車は、エンジンアンダーカバーNo.2の形状が異なる為取り付け出来ません。

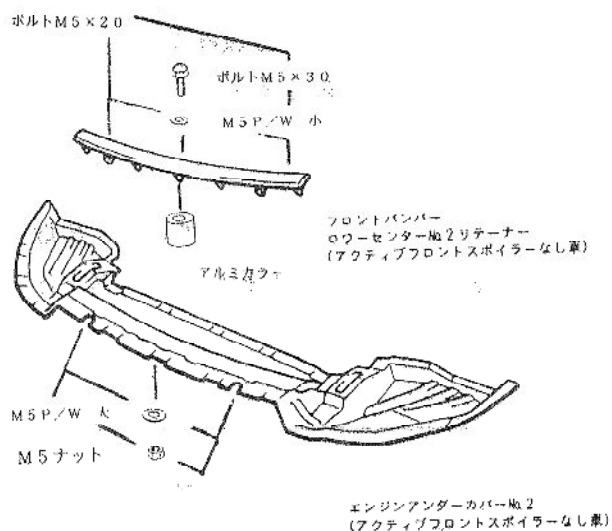
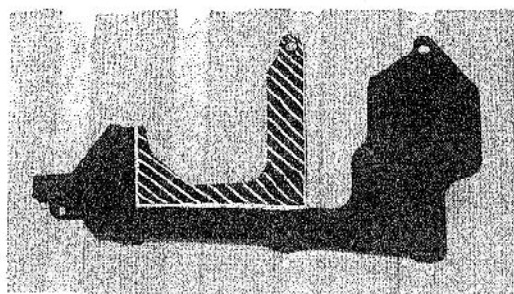
アクティブフロントスポイラー無車のエンジンアンダーカバーNo.2を購入して同様に取り付けして下さい。

トヨタ純正品番 51420-14010 定価¥7800

またアクティブフロントスポイラー本体は取り付け出来ませんので、フロントスポイラーを固定する為のステーKIT (オプション設定) を購入して下さい。

BLITZ品番 12529

定価¥8000



15. エンジンの始動に当たって

必ず換気の良い場所で行ってください。

各配管を点検して、バッテリーの(－)端子を接続し、エンジンを始動して下さい。また、パワステフルードの補充及びエア抜きを同時に行ってください。

各接続部分のエア漏れ、オイル漏れ、干渉等がないかアイドリング状態で点検して下さい。

点検終了後、エンジンアンダーカバーを取り付けて下さい。

各ランプの作動点検及び、ヘッドライトの光軸調整をして下さい。

パワーステアリングのエア抜き

1 エア抜き

(1) 車両をリフトアップする。

(2) エンジン停止時で、ステアリングホイールのロック ツウ ロックをゆっくり数回行う。

注意 オイルリザーバーのフルードがなくならないように補充しながら行う。

(3) リフトダウンする。

(4) アクセルペダルを踏まずにエンジンを始動して、数分放置する。

(5) エンジン回転数 1000rpm以下で、ステアリングホイールのロック ツウ ロックを数回繰り返す。

注意 ステアリングホイールをいっぱいに切った状態で、10 秒以上保持しない。

(6) オイルリザーバーの口から、フルードの泡立ちおよび白濁がないことを点検する。

(7) (6)の点検結果が不良の場合は、オイルリザーバーの口から、フルードの泡立ちおよび白濁が消えるまでエンジンを停止して放置したあと、(4)～(5)の作業を行う。効果がない場合は、油圧系統のフルード漏れの点検を行う。

(8) エンジンを停止する。

以上でK I Tの取り付けは終了です

■ テスト走行を行い、ブースト圧とノッキングの確認をしてください。

BL⚡TZ